

船橋市立医療センター等建替え基本設計概要

船橋市立医療センターが、救急医療及びがん医療を主体とする高度な急性期医療を提供する船橋地域の中核病院としての使命を果たせるよう、建て替えを行い、さらなる機能強化を図ります。

1 新病院の病床数

493 床（500 床） カッコ内は精神病床稼働後（病床配分については千葉県と協議中）

2 施設計画

- (1) 建設予定場所：海老川上流地区土地区画整理事業地区内
- (2) 敷地面積：44,674.67 m²（院内保育所、救急ステーション敷地含む）
- (3) 主要建物概要

- ① 病院本棟
鉄骨造一部 SRC 造（免震構造）
地上 7 階、塔屋 2 階
延べ面積：約 53,650 m²
- ② エネルギーセンター
鉄筋コンクリート造
地上 2 階 塔屋 1 階
延べ面積：約 1,060 m²
- ③ 自走式立体駐車場
鉄骨造
地上 6 階
延べ面積：約 15,690 m²
- ④ 院内保育所
鉄骨造
地上 1 階
延べ面積：約 320 m²



- ⑤ 救急ステーション
鉄骨造
地上 2 階
延べ面積：約 820 m²

3 概算工事費

約 560 億円（税込）
※ 基本設計完了時点の金額であり、今後、実施設計の中で精査していきます。

4 整備スケジュール

	2022年度 (令和 4 年度)	2023年度 (令和 5 年度)	2024年度 (令和 6 年度)	2025年度 (令和 7 年度)	2026年度 (令和 8 年度)	2027年度 (令和 9 年度)
基本設計	→					
実施設計		→				開院
工事		

※ 基本設計完了時点のスケジュールであり、今後、実施設計の中で精査していきます。

5 施設計画の主な特徴

(1) 救命救急・高度医療機能の強化

- ・ 関連する部門を適切に配置し、機能毎の専用エレベータを設置することにより、高度医療の機能強化を図ります。
- ・ 救急医療に関連する部門は、専用の大型エレベータで直結させ、迅速かつ効率的な救急医療を実現します。

(2) 災害対応機能の充実

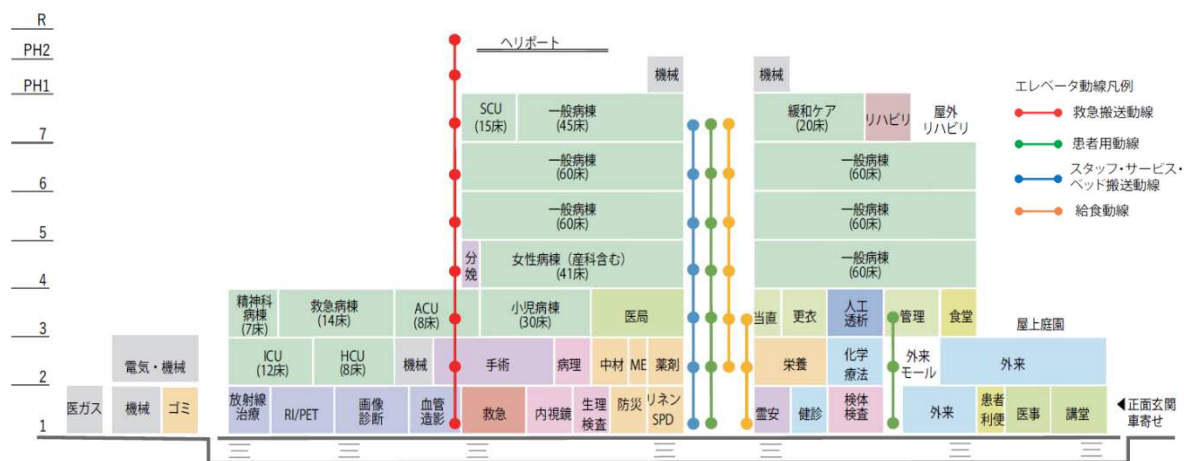
- ・ 地域災害拠点病院として、大規模災害時でも病院機能を維持できるような施設・設備を整備します。
- ・ 大規模災害時の傷病者受入れを想定した計画とし、医療ガスや電源など必要な設備を適切に設置します。
- ・ 大規模感染症対応を想定し、感染症対応動線の確保や陰圧室の設置、感染症対応病棟に切り替え可能な病棟の設置など、COVID-19の知見を踏まえた計画とします。

(3) 成長と変化への備え

- ・ 将来の病院の成長と変化に対応可能な、将来対応スペースを確保します。また、増築建築物とのスムーズな動線が確保できるように、内部の主動線をオープンエンドにします。
- ・ 増築や建替えだけに頼ることなく、成長と変化に柔軟に対応できるように、改修しやすい構造、設備計画とします。

(4) 患者・家族視線の病院づくり

- ・ 患者・家族が利用する部門は、主動線となるモールに沿って配置することで、わかりやすくスムーズな動線計画とします。
- ・ 病棟は、原則個室とし、患者にとってプライバシー性の高い療養環境とします。



上図：階構成図 左下：外観透視図 右下：内観透視図

基本設計概算工事費内訳

項目	概算金額 (税込)	備考
病院本棟	438 億円	延べ面積：約53,650㎡
エネルギーセンター・医ガス棟	35 億円	延べ面積：約1,060㎡、約60㎡
立体駐車場	24 億円	延べ面積：約15,690㎡
院内保育所	3 億円	延べ面積：約320㎡
地盤改良	35 億円	液状化対策・圧密対策 建物下含む
敷地造成	5 億円	
外構	20 億円	玄関前雨除けシェルター、平面 駐車場等含む
計	560 億円	